



三重中央だより

当院の理念(Principle) ● いのちの尊さを自覚し、病む人の身になって、安心で質の高い医療を行います。

三重中央医療センターを支える 医療従事者特集 ③

臨床検査科

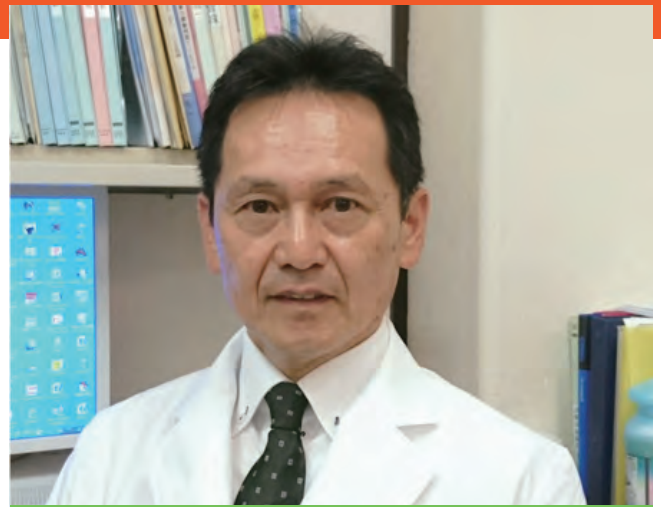
臨床検査技師の役割

病院業務を支える様々な職業のなかに臨床検査技師という職種があります。あまり聞き慣れない職種で目立つ仕事ではありませんが、患者様の身近なところで活躍しています。

病院を受診した際、検尿や採血、病状によっては心電図や肺活量、超音波検査が行われます。このような検査を担当し、医師に検査値を報告、診断や治療をサポートしているのが臨床検査技師です。その業務は多岐にわたり、専門性の高い業務となります。当院では26名、国立病院機構全体では2,500名程がこの職業に従事しています。

この職業を「選んだ理由」と「やりがい」についてスタッフに聞いてみたことがあります。顕微鏡で見た微生物に興味をもった、研究や実験が好き、人の命に関わる仕事に就きたかった、子供のころ検査で技師さんにお世話になった、家族が医療従事者であったことなどが選んだ理由でした。やりがいについては、採血後に痛くなかったよ！と患者様に言葉をかけられた、わずかな検査値の異常から重大な疾患が見つかり治療が行われた、超音波検査や脳波検査で稀な症例を経験した時など様々です。このように臨床検査技師の業務は、病気の診断から治療まで広く関わることのできるやりがいのある仕事です。

近年、医療の進歩と共に検査機器の発展もめざましく、検査業務の内容は様変わりしています。私が入職した33年前は、まだ手作業の検査も多く、人手も時間も必要でしたが、高度な検査機器の



臨床検査技師長 松本 清

開発により自動化が進み、多くの検査に於いて、人手がかからず迅速報告が可能となりました。また、予防医学の発展と共に人間ドックやがん検診など、健康診断に係わる検査が増え、細菌・ウイルス感染症やがん疾患の確定診断及び治療に関する遺伝子検査も注目されています。このことより、より多くの経験と高度な技術をもった臨床検査技師が必要とされ、専門性の高さも求められています。

近未来には、更に検査機器が発展し人工知能(AI)の導入により、検査業務は大きく集約されるでしょう。AIと共存して行くには、検査技術の向上を継続すると共に、臨床検査技師を目指した志しと医療の役に立ちたいという強い意思をもって、日進月歩の医療と向き合っていくことが重要と考えます。また、チーム医療に於いても、人との繋がりを大切に、幅広い対応ができる臨床検査技師を目指して行きたいと思えます。



臨床検査科は大きく分けて、検体検査、生理機能検査、病理検査、細菌検査の4部門で構成されており、臨床検査技師(非常勤職員を含めて)26名に検査助手1名を加えた総勢27名が働いています。若いスタッフ

も多く、明るく活気のある職場です。

私の主な業務は、通常業務の超音波検査に加え、各種委員会への出席や検査科会議の準備、当直勤務表の作成、検査技師長の補佐役を担っており、これからも検査科全体を広い視野でとらえ、思慮

深く考え行動できるよう努めていきたいと思っています。

又、検査業務は医師や看護師との連携が重要であり、採血業務や生理機能検査(心電図・超音波など)では患者様とのコミュニケーションが非常に大切となってきます。思いやりの心とコミュニケーション能力を高めるために患者接遇を学び、技術的な教育、緊急時対応についても検査科内で勉強会を開催し、信頼される臨床検査科を目指しています。

私たち臨床検査技師は、「迅速かつ正確に検査結果を報告する」をスローガンに患者様の役に立てるよう努力していきたいと思っています。

採血業務担当

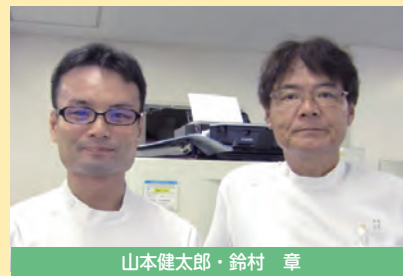


堤 裕美・杉野仁美

採血は看護師2名と検査技師が2～4名で業務しております。朝8時30分から開始し、午前中の平均採血

待ち時間は30分程度です。多い日には一日300人を超えることもあり、待ち時間が50分近くになることもあります。私たち職員は確実な臨床検査のために、安全かつ、速やかに採血が行えるよう、熱意をもって日々創意、工夫を凝らしています。

血液検査担当

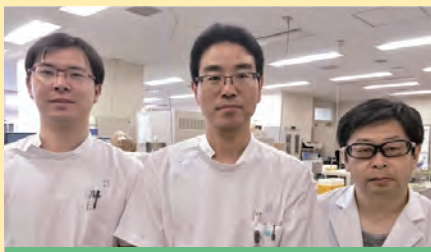


山本健太郎・鈴木 章

血液中の赤血球及び白血球の数や種類を調べることで貧血や血液細胞に異常がないか、凝固

機能を調べ血栓ができていないか、血液をサラサラにする薬のコントロールは良好かを検査しています。また、検査結果の変化を迅速に報告することを心がけ業務にあたっています。

生化学検査担当



山口健太・大山貴史・小澤一也

主に肝・腎機能、脂質・糖代謝などを中心に血液や尿の成分を詳しく調べ、か

らだに異常はないか、どの部分の疾患か、栄養状態はどうかなどを検査しています。

近年、検査機器の自動化が進んだことで、生化学検査は一部を除き概ね1時間以内に結果報告が可能となりました。

輸血検査担当



山岸 緑・松井一樹

血液型、不規則抗体、交差適合試験等の輸血関連検査を担当しています。通常と異なる反応があ

った場合の精査に時間を要することがあり、お待たせしてしまうこともあります。安全で適正な輸血療法を実施していただくためご理解を頂いています。また、輸血療法管理部門として実施状況、副作用管理や輸血実施に伴う感染症確認検査の患者様への説明など検査技術以外の業務も担当しています。

微生物検査担当



植田真理子・中野 学・中野つづり

病気(感染症)の原因となる細菌の種類を調べ、その細菌に対しての薬の効き具合をみる薬剤感受性検査を行

っています。また、患者様が一日でも早く元気になって頂ける様、迅速に結果を報告をし、感染対策チームの一員として、医師・看護師・薬剤師と連携をとりチーム医療に積極的に参加しています。

腹部超音波検査担当



赤松麻美・上嶋浩美・近藤みどり

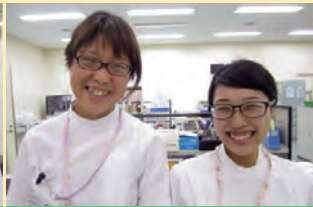
超音波検査は、痛みのない非侵襲的な検査です。腹部、乳腺、甲状腺など皮膚の上から機器

を当て超音波の反射を画像化することで、体内の臓器病変を見ることができます。腹部検査では、患者様に呼吸調節、体位変換などの協力をお願いしながら、消化管ガスを除けて検査をします。また、検査に対する不安で一杯の患者様に声かけをして、緊張を和らいでいただけるよう心がけています。

病理検査担当



前田由美・鈴木彩華



永田かおり・河野侑希

病理検査とは少し前に放映されたドラマ“フラジャイル”の舞台ですと言えばわかりやすいでしょうか？あんなにかっこいい病理医がいる・・・？かどうかはわかりませんが、治療方針を決定する重要な検査として毎日緊張感を持って病因究明に努めています。

脳波・筋電図検査担当

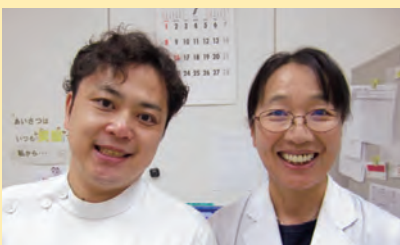


布村優果・佐藤里沙・安藤瑠美

脳波・筋電図検査では、頭に電極を装着して人の脳から生じる電気活動を記録し、異常な脳

波が出現していないかを調べ、手足に弱い電気刺激を加え、神経に障害がないかを検査する神経伝導速度を主に行っています。また、患者様の協力が必要な検査も多いことより、気配りと思いやりの心を忘れずに業務に励んでいます。

心臓超音波検査担当



長谷川雄亮・服部 香

超音波検査のうち、心エコー、血管エコーを担当しています。

心臓の動きや大きさ、弁の逆流等を調べたり、

血管エコーでは動脈や静脈に異常がないか、血栓や静脈瘤ができていないかなどを調べたりします。検査に痛みはありませんが、検査によっては時間のかかる事もあり、直接触れての検査になりますので、親切で丁寧な対応を心がけています。

心電図・肺機能・その他の検査

若手の臨床検査技師が中心となり、ベテラン技師も含めて、生理機能担当者全員が交代制で心電図や肺機能、その他多くの検査を幅広く担当しています。通常の心電図の他に、運動負荷心電図、24時間心電図を記録するホルター心電図、肺活量



や特殊なガスを使った精密肺機能検査、足の血管のつまりをみるABI検査、睡眠中に呼吸が止まっていないかをみる睡眠時無呼吸検査を行っています。

三重中央医療センターは開院20周年を迎えました

平成30年7月1日、三重中央医療センター開院20周年記念式典を執り行いました。当院は国立津病院、国立療養所清澄病院の統合により平成10年7月1日に現在の地に開院いたしました。式典当日は田村憲久衆議院議員、鈴木英敬三重県知事、前葉泰幸津市長ら大勢のご来賓にご出席いただき、当院がこの地域で果たす役割は大きく、これからも地域のために奮闘していただきたいというご祝辞をいただきました。当院は今までの20年の蓄積の上に、次の20年を展開していきます。高齢社会を迎える2025年以降を見据えた「津地域医療構想」において、当院は次のような役割を担うように指示されました。1. がん、心筋梗塞、脳卒中、糖尿病という国民の多くが罹る疾病について、この地域でしっかりと治療を展開してください。2. 津地区の救急医療の柱となり、しっ



三重中央医療センター 院長 霜坂辰一

かりと救急医療体制を支えてください。3. 三重県総合周産期母子医療センターとして、三重県の中心施設として、妊婦さん、新生児の健康・命を守ってください。4. 災害拠点病院として、災害が津地域に及んだときには、災害医療の中心的施設として活動してください。この役割をしっかりと見据え、三重中央医療センターは次の20年も地域の皆様と歩んでまいります。



赴任された先生方

小児科（新生児科） 山本 和歌子

7月から赴任させていただきます小児科の山本和歌子と申します。

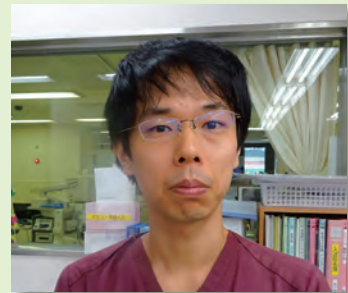
少しでもお子さまやご家族の皆さまのお役に立てるよう努めてまいりたいと思います。

どうぞよろしくお願い申し上げます。



小児科（新生児科） 神谷 雄作

初めまして、小児科 神谷雄作と申します。年齢は31歳、医師7年目、鳥取大学医学部卒、部活はジャズ&フュージョン研究会に所属していました。以前後期研修で（2年前）に1年ほど勤務させて頂いていました。その際に盆野先生を始め小児科の先生方にお世話になり、もう一度勉強させて頂きたいと思い、転勤希望を出し、今年7月から再び勤務させて頂く運びとなりました。精一杯頑張りますので、宜しくお願い申し上げます。

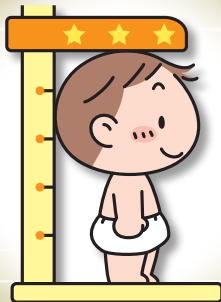
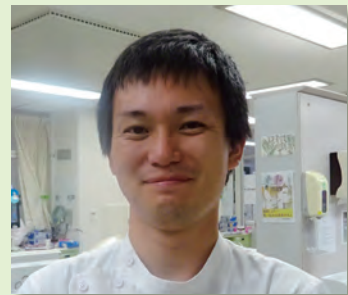


小児科（新生児科） 森 翔

7月から赴任してきました小児科後期研修医の森翔と申します。

私の出身は名張市で、山々に囲まれて幼少期を過ごしました。津高等学校、三重大学を経て小児科に入局させて頂きました。趣味は硬式テニスで、現在も週に1回はテニスができるよう努めています。一番尊敬するプレイヤーは錦織圭選手です。

一人でも多くの赤ちゃんを笑顔にできるよう全力を尽くす所存です。ご迷惑をおかけすると思いますが、ご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



がん医療に関する市民公開講座

もっと
知ろう

大腸がんのことを

日時

2018年 9月15日(土)
13:30~16:30 (12:30開場・受付開始)

会場

アスト津4階 アストホール

〒514-0009 津市羽所町700番地 TEL 059-222-2525



★公共交通機関：津駅から徒歩1分
★お車：伊勢自動車道津I.C.から約10分
※駐車料金はご利用者様のご負担となります。

PROGRAM

- 13:30 ● 開会の挨拶 三重中央医療センター 院長 霜坂辰一
- 13:40 ● 講演1 (50分)
「大腸がんの予防と診断法」
座長：三重中央医療センター 肝臓・消化器科医長 竹内圭介
講師：三重中央医療センター 内視鏡センター診療部長 渡邊典子
- 14:30 ● 休憩 (20分)
- 14:50 ● 講演2 (50分)
「大腸がんの治療法」
座長：三重中央医療センター 肝臓・消化器科医長 竹内圭介
講師：三重中央医療センター がん診療部長 横井一
- 15:40 ● 全体のまとめ (30分)
「いろいろな質問にお答えします」
講師：三重中央医療センター 外科系診療部長 谷川寛自
- 16:10 ● 閉会の挨拶 三重中央医療センター 副院長 田中滋己

参加申し込み不要

先着250名

参加費 無料

お問い合わせ先



独立行政法人 国立病院機構 三重中央医療センター
がん相談支援センター

津市久居明神町2158-5
TEL:059-259-1211(代)
(担当:早川、金森、太田)

主催：独立行政法人 国立病院機構 三重中央医療センター

後援：三重県、公益社団法人 三重県医師会、一般社団法人 三重県薬剤師会、公益社団法人 三重県看護協会、三重県医療ソーシャルワーカー協会

市民公開講座のご案内

花粉シーズンを楽に過ごすために ー 私たちにできる花粉症対策ー



日本花粉学会第59回大会会長
耳鼻咽喉科 伊藤由紀子

2018年9月21日（金）～9月23日（日）津市で日本花粉学会を開催することになりました。花粉学会は花粉症・空中花粉、花粉分析など花粉にまつわるさまざまな分野での研究、国際交流を行っている学会で、アレルギー専門医認定講習会としても承認されています。

本学会中に“花粉症克服のための市民公開講座”を企画いたしました。多数の皆様のご参加をお待ちしています。

■日時：9月22日(土) 13:40～15:10

■会場：アスト津4F アストホール

入場
無料

プログラム

司会：伊藤由紀子・湯田厚司

- ①三重県のスギ、ヒノキの今後 三重県林業研究所 島田 博匡 様
- ②花粉情報の上手な活用法 気象予報士・前NHK気象キャスター 村山 貢司 様
- ③花粉症状完全消失への道 大塚耳鼻咽喉科・日本医科大連携教授 大塚 博邦 先生
- ④免疫力アップ、自律神経バランスを整えるヨガ 日本総合ヨガ普及協会正指導師 佐久間 麻里 様

参加方法

当日13:20から受付を開始します。直接会場にお越し下さい。
先着150名様とさせていただきます。

お問い合わせ

大会事務局：三重中央医療センター耳鼻咽喉科

Tel 059-259-1211 Fax 059-256-2651

心豊かに 未来につなぐ

三重中央文化祭
2018.10月27日(土)
開催します

文化祭

川エデュカオウ

■ 11:00 ~

特別講演

- 元中日ドラゴンズ選手
立浪和義 氏・今中慎二 氏

■ 12:30 ~

市民公開講座



2018.10.27(Sat)

11:00~16:00

Flower : Chelban
Photo : CloverPhotograph
Model : Marie

独立行政法人 国立病院機構

三重中央医療センター

三重中央医療センター附属

三重中央看護学校

お問い合わせ 059-259-1211 地域連携室

我が故郷

津・久居



救急病棟看護師長
帖 佐 須美子

私は、津で生まれ育ちました。そして高校を卒業したとき、津から旅立とうと勇気を出して、久居市当時の国立津病院附属看護学校に入学し、寮生活を始めました。その後国立津病院に就職、結婚・出産・子育てと、この久居の地で人生を歩んで、三十年を超えてしまいました。かつて勇気を出して飛び込んだ久居は、現在、市町村合併により同じ津市となり、大好きな津市から、出ることなく今日に至っていることに幸せを実感しています。

この三重中央医療センターが開院し今年で二十二年になりました。この病院は、久居駅前にあった国立津病院と、白山町の静澄病院が合併してできた病院ということをご存知の方も少なくなっているのかなと、少し寂しくも感じています。今でも看護学生時代の楽しい思い出は、旧久居駅の木造駅舎とともに鮮明に記憶にあります。久居駅前の道路は今のようになく、友人と半てん姿で歩いて、駅前のケーキ屋さん・八百屋さんへと買い物に行っていたのを思い出します。駅前周辺の方々も、半てん姿の若い女の子たちは看護学生と分かっていて、暖かく見守っていたように思います。

今は、駅もきれいに大きくなり、津病院のあったところは公園・駐車場と整備され、昔の面影はありません。病院も大きく立派になりました。現在私は、救急病棟で勤務しています。当院は津市の救急車の約1/4を受け入れさせていただいています。救急という患者様・ご家族にとって一番不安な大変なときに、看護師としてより適切な看護・治療を提供したいと思うとともに、少しでも不安を軽減できる、寄り添う気持ちを忘れないでいたいと考えています。私を育ててくれた大好きな津市の方々が、「三重中央があるから安心」と、言って頂けるようこれからも頑張りたいと思います。



輝くメディカルスタッフたち

医師、看護師以外でも、多くの専門性を持ったスタッフが当院院内で活動しています。その人と仕事にスポットを当てて紹介します。

言語聴覚士 植松 真世



私たち言語聴覚士は、話す、聞く、読む、書く、食べるなどが不自由になられた方のサポートをします。

高校生の時に病気の後遺症で言葉がすぐに浮かんでこない方と出会い、言語聴覚士を目指しました。まだまだ勉強不足ですが、リハビリをさせていただく中で少しでも回復や笑顔がみられた時は、私自身も救われたような温かい気持ちになります。

一人ひとりの方と誠実に向き合い、身体面や精神面に少しでも力になれるよう、日々精進して参ります。

「里山こころの便りー柵原の窓から」

『イソップ物語と精神疾患』について

今年4月、村上優前院長（おひげがやさしい）から院長を引き継ぎました。よろしくお願いたします。精神医学領域について、できるだけわかりやすくお伝えしていきたいと思えます。

今回は『イソップ物語と精神疾患』について。

皆さんはイソップ物語をご存じかと思えます。イソップ物語には、動物にたとえながら、私たちのこころの状態について実に上手に書かれた物語があります。その中の一つ、「酸っぱいブドウ」のお話は…おなかを空かせたキツネがたわわに実ったブドウを食べようとして飛び跳ねたものの、結局届かず食べられなかった悔しさから、「あのブドウはどうせ酸っぱくてまずいはずさ」と言って去って行った…とされています。これは負け惜しみとされていますが、心理学的には心の中で『合理化』が働いていると言われています。合理化とは、『自分の行動や態度に対し、何らかの理由づけをすることにより不安や葛藤から逃れようとする』ことで、キツネを主人公にしつつ、私たちのこころの中にある動きを巧みに示しています。さて、こうしてみると合理化はあまりよくないように書かれていますが、実は悪いことばかりではないのです。私たちの体にはウイルスやばい菌が入ると体を守るために免疫がうまく働いて健康を保つようにしてくれますが、この合理化はこころを守ってくれるための一つの方法なのです（負け惜しみばかりではちょっと困りますが…）。

今回はこころを守る働きがうまくいかなくなると…について紹介します。



村田昌彦

柵原病院
院長





看護部長
近澤香織・今井可奈子・宮崎紘子

こんにちは。専門・認定看護師です

シリーズ 11

みなさまこんにちは。私たち認定・専門看護師は今年度、「口腔ケア」の充実をめざし、力を合わせて取り組んでいます。私たちの生命活動は食べることによって支えられており、食べるためになくてはならない器官が「歯」で

す。この「歯」を維持するためには、お口の環境を良く整える「口腔ケア」が大切になります。お口の中には多くの細菌が生息しています。健康な方であっても、虫歯や歯周病の予防のために「口腔ケア」は欠かせませんが、手術や抗がん剤治療、あるいは放射線治療を行うことで一時的に全身の抵抗力が弱まったとき、普段は悪さをしない細菌が、肺炎や重症の口内炎などの様々な合併症の原因となることがあります。そのため、病気治療中の方には特にお口の環境を整えること、すなわち「口腔ケア」が重要です。

あなたの歯は健康ですか？一度確認してみてください。次回からは、各専門分野ならではの知識を生かした「口腔ケア」をご紹介しますと考えています。

「クローバー友の会」 会員募集

「クローバー友の会」は地域の皆様と病院が、様々な病気・医療の学習を通して理解を深め合う会として発足しました。賛同いただける方はぜひ会員登録をお願いいたします。登録は無料です。会員には当院から健康に関する様々な情報をお届けします。受付でお声かけください。登録と同時に会員証をお渡しいたします。

たくさん勉強していただいた方には素敵なプレゼントがあります。

記入いただいた個人情報は本会の業務以外には使用せず、安全かつ適切に管理いたします。

三重中央医療センター 地域医療連携室

独立行政機構
三重中央医療センター
クローバー友の会事務局

〒514-1101 三重県津市久居明神町2158-5
TEL. 059-259-1211 内
地域医療連携室

三重県津市久居明神町
三重中央医療センター クローバー友の会

会員にご登録いただきありがとうございます。
講演会に参加いただくことに1スタンプ捺印いたします。
(スタンプ数による特典は別紙公表いたします。
特典は変わる場合があります。)

■会員地

住所 _____

氏名 _____

電話 _____

1	2	3	4	5
6	7	8	9	10
11	12	13	14	15
16	17	18	19	20

編集 後記

いま、世界がおかしいです。日本では観測史上最高気温が連続し、熱中症患者が激増しました。以前は、日射病と呼んで、炎天下にいなければ問題なかったのが、自宅で普通に寝ている間に熱中症で死んでしまうことがあるのです。クーラーを付けなければ生活出来ない国になるなんて予想もしませんでした。既に人間の生体機能だけでは、地球気候に順応出来なくなっています。これからは、気候・気象による疾患が増えることを憂います。
(肥爺爺)

発行所

三重中央医療センター

院長 霜 坂 辰 一

三重県津市久居明神町2158番地5

TEL. 059-259-1211

http://www.miechuo-hosp.jp/

●●● 三重中央医療センター連携医療機関紹介 ●●●●●

うれしの太田クリニック



当院は平成8年4月に松阪市嬉野算所町にて開業し、23年目を迎えました。

院長の太田正澄が消化器内科、外科、内科を、副院長の東美が眼科を担当しています。開院当初より在宅療養を行い、医院までお越しできなくなった患者様を最後までお世話ができる家庭医を目指しています。また地域の保健計画策定の参加を契機として、「自分の健康は自分で守ろう」をモットーに、地域住民の方々と「健康づくり嬉野

Uの会」を運営し、健康づくりのボランティアを行っています。また在宅療養の豊富な経験をもとに、介護の相談にも応じていますのでよろしくお願いいたします。

院 長：太田 正澄
副 院 長：太田 東美
診療科目：消化器内科、眼科、外科、内科、肛門外科
住 所：〒515-2335 松阪市嬉野算所町515-1
電 話：0598-42-8088 FAX：0598-42-8087
休 診 日：一覧をご参照下さい

消化器内科、外科、内科、肛門外科							
診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00～12:00	○	○	○	○	○	○	△
15:00～16:30	○	○	○	△	○	△	△

眼 科							
診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00～12:00	○	△	○	△	○	○	△
15:00～18:00	○	△	○	△	○	△	△

おくだ内科クリニック



私は三重大学卒業後18年間、三重県内各地の総合病院に勤務した経験を生かし、地域医療を提供したいと思い、2010年に江戸橋駅の西に開業いた

ホームページ：<http://www.okuda-naika.com/>

しました。

検査では経鼻上部消化管及び大腸内視鏡、腹部超音波検査等を行っています。その他、禁煙外来、スギ花粉症に対する舌下免疫療法、睡眠時無呼吸症候群の簡易検査等もを行っています。皆様から親しまれ、何でも相談できるクリニックにしたいと思っています。何卒よろしくお願いいたします。

院 長：奥田 和明
診療科目：一般内科、消化器内科
住 所：〒514-0008 津市上浜町5丁目57番地
電 話：059-221-3000 FAX：059-221-3100
休 診 日：土曜午後、日曜日、祝祭日

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00～12:00	○	○	○	○	○	○	△
15:30～19:00	○	○	○	○	○	△	△

森岡内科クリニック



当院は1980年開業で、糖尿病を中心に内科診療を行っています。糖尿病診療においては、個人栄養指導やインスリン外来導入の他に、糖尿病教室(毎月)や、毎回好評をいただいている調理実習(年2回)を開催しています。そして当院では糖尿病

患者さんが「糖尿病を持ちながら自分の望む人生を達成できること」を目指し、糖尿病療養指導士の資格を持つ看護師をはじめ、スタッフ全員で患者さんの療養のサポートにあたっています。

院長：森岡 浩平
 診療科目：内科 糖尿病・代謝内科
 住所：〒518-0718 三重県名張市丸之内3-13
 電話：0595-63-0003 FAX：0595-63-4339
 休診日：木曜日午後、土曜日午後、日曜日、祝祭日

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00～12:00	○	○	○	○	○	○	△
16:00～19:00	○	○	○	△	○	△	△

豊里クリニック



昭和58年10月に開業後、現在では老年内科、施設在宅訪問診療を中心に主に終末期自然看取りを担当しています。院長が前期高齢者にさしかかり、年齢相応の貢献度とさせていただきます。5年ほど前から次男を非常勤で迎え、退職後はすべて

任せるつもりです。医師会の要職を歴任しており、医療相談なら何時でもお役立て下さい。担当患者様急変時には三重中央医療センター等の支援病院のお世話になっています。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

院長：浦和 健人
 医師：浦和 昌史
 診療科目：内科（老年内科、訪問診療、在宅療養支援診療所）・皮膚科
 住所：〒514-2222 津市豊が丘2丁目46-3
 電話：059-230-1120 FAX：059-230-1208
 外来休診日：木曜日午後、火曜日、土曜日、日曜日、祝祭日

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:30～12:30	訪問	訪問	訪問	○	○	訪問	△
15:00～18:00	○	訪問	○	△	○	△	△



外来診療担当表

平成30年9月1日現在

診療科名等		月	火	水	木	金	
初診内科 (初診・予約外)	1診	井端 英憲【呼】	大本 恭裕【呼】	中久木 哲也【循】	田中 剛史【糖】	川崎 敦【循】	
	2診	竹内 圭介【消】	武内 哲史郎【循】	田口 由紀子【消】	田中 淳子【循】	後藤 浩之【糖】	
	3診	新谷 卓也【循】	倉田 一成【消】	坂倉 康正【呼】	渡邊 典子【消】	北出 卓【消】	
	4診	小野 隆裕【呼】	奥田 昌也【糖】	渡邊 麻衣子【糖】	西村 正【呼】	内藤 雅大【呼】	
(整形3診)					吉川 恭子【消】		
再診内科 (再診予約のみ)	呼吸器内科	5診			井端 英憲(午後再診)		
	循環器内科	5診	田中 淳子	川崎 敦		武内 哲史郎	
	呼吸器内科	6診		井端 英憲	井端 英憲	大本 恭裕	
	(整形1診)			藤本 源			
	消化器内科	7診	子曰 克宣	北出 卓	渡邊 典子	田口 由起子	竹内 圭介
	内科	5診			井田 紗夕香		
		8診	中久木 哲也【循】	新谷 卓也【循】	後藤 浩之【糖】		新谷 卓也【循】
		9診	後藤 浩之【糖】	田中 剛史【糖】	田中 剛史【糖】	田中 崇【糖】	田中 剛史【糖】
		10診			内藤 雅大【呼】	奥田 昌也【糖】	岡野 智仁【呼】
	(整形2診)					渡邊麻衣子【内】	
腎臓内科(外科2診)					村田 智博		
神経内科		1診	北川 長生	北川 長生	北川 長生	北川 長生	
		2診	林 理絵	賀川 賢	賀川 賢	賀川 賢	吉丸 公子
		3診		大内 智洋			
小児科・新生児科 (初診・再来初診は紹介のみ) (NICUフォロー発達外来は予約のみ)	午前	1診	井戸 正流(初診)	小川 昌宏	井戸 正流(初診)	田中 滋己	田中 滋己(初診)
		2診	盆野 元紀	盆野 元紀	交代制	盆野 元紀	NICU連携外来
		3診	田中 滋己	田中 滋己(初診)	山下 敦士		小川 昌宏
		4診(発達外来)	杉野 典子	交代制	杉野 典子	杉野 典子	発達支援
	午後	1診	NICUフォロー	NICU乳児健診(交代制)	内菌 広匡	田中 滋己(奇数週)	佐々木 直哉(偶数週)
		2診	盆野 元紀	杉野 典子(2週間・1ヶ月健診)	杉野 典子	内菌広匡(1、3週) 神谷雄作(2、4、5週)	盆野 元紀(内分泌・成長外来)
		3診	小川 昌宏	山下 敦士(心エコー外来)	小川 昌宏	小川 昌宏	シナジス外来(交代制)
		4診(発達外来)	杉野 典子(奇数週)	発達支援	発達支援	発達支援	発達支援
総合診療科					近藤 諭		
外科	1診	湯浅 浩行	谷川 寛自	横井 一	信岡 祐	谷川 寛自	
	2診	横井 一		松田 明敏			
	(泌尿器1診)		信岡 祐(午前)				
緩和ケア外来(予約・紹介のみ)						谷川 寛自	
乳腺外科(予約のみ)						野呂 綾	
整形外科 (予約・紹介のみ)	1診	田中 雅		高北 久嗣		田中 雅	
	2診	高北 久嗣		山口 敏郎		山口 敏郎	
形成外科				石浦 良平			
脳神経外科	1診(初診)	石田 藤麿	辻 正範	谷岡 悟	田中 克浩	石田 藤麿(偶数週) 辻 正範(奇数週)	
	2診(再診)	霜坂 辰一	石田 藤麿	霜坂 辰一	谷岡 悟	田中 克浩	
脊椎・脊髄外科(予約・紹介のみ)						倉石 慶太	
呼吸器外科			安達 勝利		樽川 智人	安達 勝利	
心臓血管外科		浦田 康久		佐藤 友昭		日置 巖雄	
皮膚科*(予約・紹介のみ)		中西 朝子	三重大学医師(再診)	中西 朝子	三重大学医師	中西 朝子	
泌尿器科		1診	加藤 雅史	加藤 雅史(初診)	西井 正彦(午前診療) 加藤 雅史(午後診療)	西井 正彦(初診)	
		2診	長谷川 嘉弘(初診)		長谷川 嘉弘(初診)	長谷川 嘉弘	
産科・婦人科	午前	1診(初診)	神元 有紀	大里 和広	大里 和広	吉村 公一	山口 恭平
		2診(婦人科再診)	山口 恭平	大阪 優	吉村 公一	大阪 優	柏原 優花
		3診(産科再診)	永橋 裕子	柏原 優花	神元 有紀	永橋 裕子	
		4診(助産師外来)	毎日、完全予約制(担当は交代制)				
	午後	1診(産科再診)	神元 有紀		神元 有紀	吉村 公一	山口 恭平
		2診(婦人科再診)	山口 恭平		吉村 公一		
3診		助産師外来	産後一ヶ月健診	助産師外来	助産師外来	助産師外来	
眼科(予約のみ)		三重大学医師		三重大学医師			
耳鼻咽喉科	午前		伊藤 由紀子(再診予約のみ)	伊藤 由紀子(初診)	伊藤 由紀子(初診)	伊藤 由紀子(再診予約のみ)	
	午後(再診予約のみ)	伊藤 由紀子	中耳外来		中耳外来		
放射線科(7ブロック)		奥田 康之	奥田 康之	奥田 康之	奥田 康之	奥田 康之	
リハビリテーション科		山口 敏郎	田中 雅	田中 雅	田中 雅	高北 久嗣	
歯科・歯科口腔外科		柳瀬成章／加藤英治	柳瀬成章／三重大学歯医者	柳瀬成章／加藤英治	柳瀬成章／加藤英治	柳瀬成章／加藤英治	
看護外来(予約のみ)		第1月曜日	透析予防外来	糖尿病外来	ストーマ外来	フットケア外来	
			がん看護相談外来	がん看護相談外来	がん看護相談外来	がん看護相談外来	

* 初診及び予約のない再診の方の受付時間は8:30～11:00までです。 * 医師の人事異動・出張等により臨時に代診(休診)となる場合があります。
 * 本院のような急性期病院は、病棟入院患者様の処置、手術、検査、回診等があり、外来診療に制限を設けなければならない診療科もあることを御理解ください。

不整脈専門外来	肝炎外来	いびき・無呼吸検査	タバコ障害・COPD精査	ものわずれ外来	未破裂脳動脈瘤の相談 要予約(自費)
月・火曜日 午前診療	月曜日 午前診療	月・火曜日 午前診療	毎日 午前診療	金曜日	金曜日 午前診療
循環器内科(新谷)	消化器内科(竹内)	呼吸器内科	呼吸器内科	神経内科(吉丸)	脳神経外科(石田)
脊椎・脊髄外科専門 (要予約・紹介)	肺癌・良性肺腫瘍・ 気胸・縦隔腫瘍・嚔胸	中耳外来 (予約)	プレママ外来	おっぱい外来 (予約)	乳腺外科 (予約)
金曜日 (10時～12時30分)	火・木・金曜日 午前診療	火・木曜日 午後診療	月・木曜日午後 火曜日午前診療	月・木曜日 午前診療	金曜日 午後診療
脊椎・脊髄外科(倉石)	呼吸器外科	耳鼻咽喉科(伊藤)	産科・婦人科		乳腺外科(野呂)